

写真1 元首絹蝶 Parnassius cephalus

四姑娘山では多くの蝶を観察できますが、取分け標高4500m前後で稀に見掛けるウスバアゲハ属の蝶は感動的です。空気が薄いためか飛ぶ姿は艶やかと言うより重々しく動きが鈍い感じがしますが、赤や青の斑点を配した白い大きな羽が大変印象的です。写真1は当地で"元首絹蝶Parnassius cephalus"と呼ばれる蝶で、イワベンケイ属の高山植物が多い鞍部に至る気流が穏やかな谷筋で見掛けます。

ルリシジミの仲間は四姑娘山に多い蝶の一つで標高2000m~4000m位まで広い地域で見られます。写真2は当地で"婀灰蝶Albulina orbitula"と呼ばれるウスユキルリシジミ属の蝶で、色とりどりの高山植物の花を飛び渡る姿が大変綺麗です。

日本の国蝶の"オオムラサキ Sasakia charonda" も居ます。**写真3**は標本の写真です。私が四姑娘山へ日本から毎年通っていた1990年代に、四姑娘山東側山麓の臥龍に有った旧博物館周辺で売られていた蝶標本が珍しくて沢山買った物の一つです。1990年代は四姑娘山へ至る道路が未舗装で状態が良くなかったため蝶



写真2 婀灰蝶 Albulina orbitula



写真3 オオムラサキ Sasakia charonda 標本写真

標本を買う観光客が少なく、地元の人が採取した蝶が僅かなお金で売られ貴重な現金収入になっていました(現在は蝶標本の採取も販売も厳しく取り締まられています)。

四姑娘山の HP 美しき蝶: Beautiful butterflies

http://rgyalmorong.info/scholaweb/butterflies/butterflylist-e.htm に他の蝶の写真が有りますので、ご興味がございましたら覗いて見て下さい。

他に

四姑娘山 http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm 女王谷 http://rgyalmorong.info/ もあります